



UNAIDS プレスリリース

HIV 予防薬へのアクセス拡大に関する米国の発表を歓迎。必要とするすべての人に届くよう世界規模のさらなる拡大を求める

ジュネーブ 2025 年 9 月 5 日 米国務省が世界エイズ・結核・マラリア対策基金（世界基金）を支援し、米大統領エイズ救済緊急計画（PEPFAR）に基づいて HIV 流行の影響を強く受けている国々で最大 200 万人にレナカパビルを配布すると発表しました。国連合同エイズ計画（UNAIDS）はこの発表を歓迎します。

米国で開発された革新的な HIV 治療薬レナカパビルは、年 2 回の注射で HIV 感染の予防が可能なことから、最も有望な HIV 予防ツールの一つとして注目されています。この画期的な予防薬が、HIV 感染リスクの高い国や地域で、若い女性・思春期の少女、セックスワーカー、注射薬物使用者、男性とセックスをする男性ら、HIV 感染の高いリスクに直面するすべての人たちに広く利用されるようになれば、何千、何万という人の命が救われることになるのです。

「今回の発表は、HIV 感染のリスクに直面している世界中の人たちにとって、この画期的な HIV 治療薬が利用可能になることで大きな希望をもたらします。ただし、すべての低・中所得国でレナカパビルが迅速かつ手頃な価格で入手できるようにするには、国際的な対応がさらに必要です。米国がいま、この画期的な治療薬の普及を支持することは、HIV 対策への投資によって新規感染の阻止が可能であるという重要なシグナルを世界に示すものです」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は述べています。

200 万人への普及はより広範な目標に向けた最初の一步であり、レナカパビルは一部の人だけでなく、必要とするすべての人が利用できるようになることが重要です。UNAIDS の推定では、2030 年までに世界の HIV 予防目標を達成するには、レナカパビルなどの抗レトロウイルス薬をベースとした予防策を 2000 万人に提供する必要があります。HIV 予防に 1 米ドル投資すること、将来の治療費とケア費用で 7 米ドルが節約されると UNAIDS は推定しています。

フランス、ノルウェー、スペイン、米国におけるレナカパビルの価格は 2024 年後半の段階で、1 人当たり年間 2 万 8000 米ドル（1 ドル 145 円換算で 406 万円）を超えています。製造元のギリアド・サイエンシズは今回の対象となるプログラムで、利益を一切出さずにレナカパビルを供給することを約束しました。今年前半の研究発表によると、レナカパビルは 1 人当たり年間 40 米ドルで製造・販売でき、十分な規模があれば 25 米ドルまで下げられることが示されています。

レナカパビルの普及にはコミュニティの関与が不可欠です。HIV の影響を最も受けている人口集団が中心的な役割を果たし、HIV 感染の高いリスクに曝されている人たちが入手可能にしなければならぬのです。

UNAIDS は、HIV 対策にあたる各国およびパートナーを支援し、いかなる場所でも、誰もが必要な HIV サービスを利用できるようにして、2030 年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を果たすことを目指します。

（仮訳：公益財団法人エイズ予防財団）